景　気

大阪府景気観測調査結果

２０１９年１０～１２月期

大阪産業経済リサーチ＆デザインセンター

 《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/keikikansoku.html>　》

　大阪府商工労働部（大阪産業経済リサーチ＆デザインセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。2019年10～12月期の調査結果の概要は次のとおりです。

**［景気は、弱い動きとなっている］**

1. 今期の業況判断ＤＩは全産業で４期連続の悪化となった。来期の業況は全産業で改善する見通しであるが、先行きには注意が必要である。





景　気

1. 主な項目のＤＩをみると、出荷・売上高ＤＩは前回の消費増税時(2014年４～６月期)に匹敵する下落幅になっている。製・商品単価ＤＩは２期連続のマイナス、原材料価格ＤＩは４期ぶりの上昇となった。営業利益判断ＤＩは14期連続のプラス水準、営業利益水準ＤＩは2012年10～12月期以来の低水準となっている。資金繰りＤＩはプラス水準も低下傾向が続いている。雇用不足感ＤＩは高止まりし、雇用予定人員ＤＩは３期ぶりのプラスとなっている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

※ＤＩは「上昇又は増加等の企業割合(％)」から「下降又は減少等の企業割合(％)」を差し引いたもので、プラスは上昇・増加

・黒字基調・順調等の企業割合が上回り、マイナスは下降・減少・赤字基調・窮屈等の企業割合が上回ったことを示す。

３．2020年１～３月期の業況判断ＤＩは、大企業で前期比が大幅に上昇し、全体でも改善する見通し。

